

別添５－２ アスベスト事前調査結果（居宅）
※市が別途発注したアスベスト定性分析調査委託の結果報告書から抜粋

5. 分析結果

試料 No	別添 No	採取場所・採取部位・建材種類	偏光顕微鏡による 定性分析結果			定量分析結果
			石綿の 有無	石綿の 種類	推定石綿 質量分率	石綿含有率%
1	1	居宅 1 1階 縁側 壁 聚楽壁	無	—	不検出	—
2	2	居宅 1 2階 和室 2 壁 聚楽壁	無	—	不検出	—
3	3	居宅 1 1階 和室 4 壁 聚楽壁	無	—	不検出	—
4	4	居宅 2 1階 外壁 旧外壁 窯業系サイディング	有	Chr	5－50%	—
5	5	居宅 2 1階 外壁 改修壁 断熱材	無	—	不検出	—
6	6	居宅 2 屋根 現況屋根 屋根下地 防水紙ルーフィング	無	—	不検出	—
7	7	居宅 2 屋根 旧折半屋根 屋根下地 断熱緩衝材	無	—	不検出	—
8	8	居宅 2 1階 和室 1 壁 壁紙（聚楽壁風）／合板	無	—	不検出	—
9	9	居宅 2 1階 LD 壁 壁紙／合板	無	—	不検出	—
10	10	居宅 2 2階 洋室 壁 壁紙／合板	無	—	不検出	—

注 1) 石綿の種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注 2) 推定石綿質量分率の報告区分については JIS A 1481-1 を参照のこと。

注 3) 推定石綿質量分率の報告区分“検出”は分析中に繊維が 1 本又は 2 本だけ検出されたことを示す。

注 4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

分析結果

試料 No	別添 No	採取場所・採取部位・建材種類	偏光顕微鏡による 定性分析結果			定量分析結果
			石綿の 有無	石綿の 種類	推定石綿 質量分率	石綿含有率%
11	11	居宅2 1階 LD 天井 壁紙／合板	無	—	不検出	—
12	12	居宅2 1階 キッチン 壁 ケイ酸カルシウム板第1種(厚／薄)	有	Chr Amo	5—50% 0.1—5%	—
13	13	居宅2 1階 階段 踏込蹴込 ビニル床タイル	無	—	不検出	—
14	14	居宅2 1階 LD カウンター壁 ソフト巾木／接着材	有	Chr	5—50%	—
15	15	居宅2 1階 洗面所 床 ビニル床シート／接着材	有	Chr	5—50%	—
16	16	居宅2 2階 洋室 床 カーペット下地 接着材	無	—	不検出	—
17	17	居宅2 2階 便所 床 ビニル床シート／接着材	有	Chr	5—50%	—
18	18	居宅2 1階 キッチン 床 ビニル床シート／接着材	有	Chr	5—50%	—
19	19	居宅2 1階 ホール 壁 壁紙／合板	無	—	不検出	—
20	20	居宅1 1階 玄関 壁 聚楽壁	無	—	不検出	—

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定石綿質量分率の報告区分については、JIS A 1481-1を参照のこと。

注3) 推定石綿質量分率の報告区分“検出”は分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

分析結果

試料 No	別添 No	採取場所・採取部位・建材種類	偏光顕微鏡による 定性分析結果			定量分析結果
			石綿の 有無	石綿の 種類	推定石綿 質量分率	石綿含有率%
21	21	居宅1 2階 洋室3 壁 聚楽壁	無	—	不検出	—
22	22	居宅1 2階 洋室3 天井 木質ボード	無	—	不検出	—
23	23	居宅1 2階 洋室2 天井 木質ボード	無	—	不検出	—
24	24	居宅1 2階 洋室2 押入 漆喰壁	無	—	不検出	—
25	25	居宅1 1階 DK 壁 石膏ボード	無	—	不検出	—
26	26	居宅1 1階 DK 天井 石膏ボード	無	—	不検出	—
27	27	居宅1 1階 浴室 壁／天井 塗材モルタル	無	—	不検出	—
28	28	居宅1 1階 洗面 床 ビニル床シート	無	—	不検出	—
29	29	居宅1 1階 便所 壁 タイル／裏面接着材	有	Chr	5－50%	—
30	30	居宅1 1階 洗面 天井 木質ボード	無	—	不検出	—

注1) 石綿の種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定石綿質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1を参照のこと。

注3) 推定石綿質量分率の報告区分“検出”は分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

分析結果

試料 No	別添 No	採取場所・採取部位・建材種類	偏光顕微鏡による 定性分析結果			定量分析結果
			石綿の 有無	石綿の 種類	推定石綿 質量分率	石綿含有率%
31	31	居宅 1 1 階 外壁 壁 塗材／モルタル	無	—	不検出	—
32	32	倉庫 1 階 屋根 屋根 スレート波板	有	Chr	5－50%	—
33	33	離れ 1 階 和室 天井 木質ボード	無	—	不検出	—

注 1) 石綿の種類の項には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注 2) 推定石綿質量分率の報告区分については JIS A 1481-1 を参照のこと。

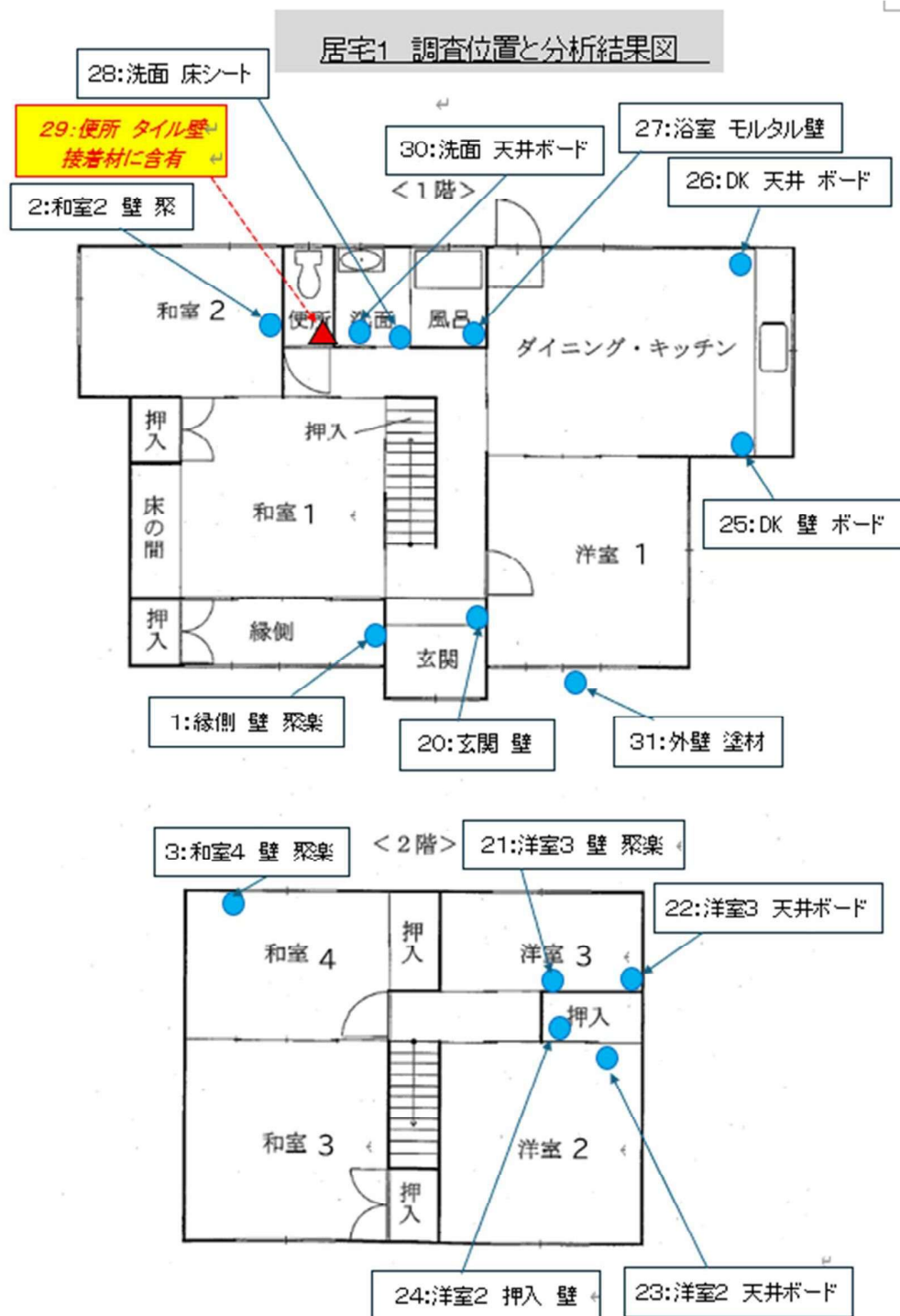
注 3) 推定石綿質量分率の報告区分“検出”は分析中に繊維が 1 本又は 2 本だけ検出されたことを示す。

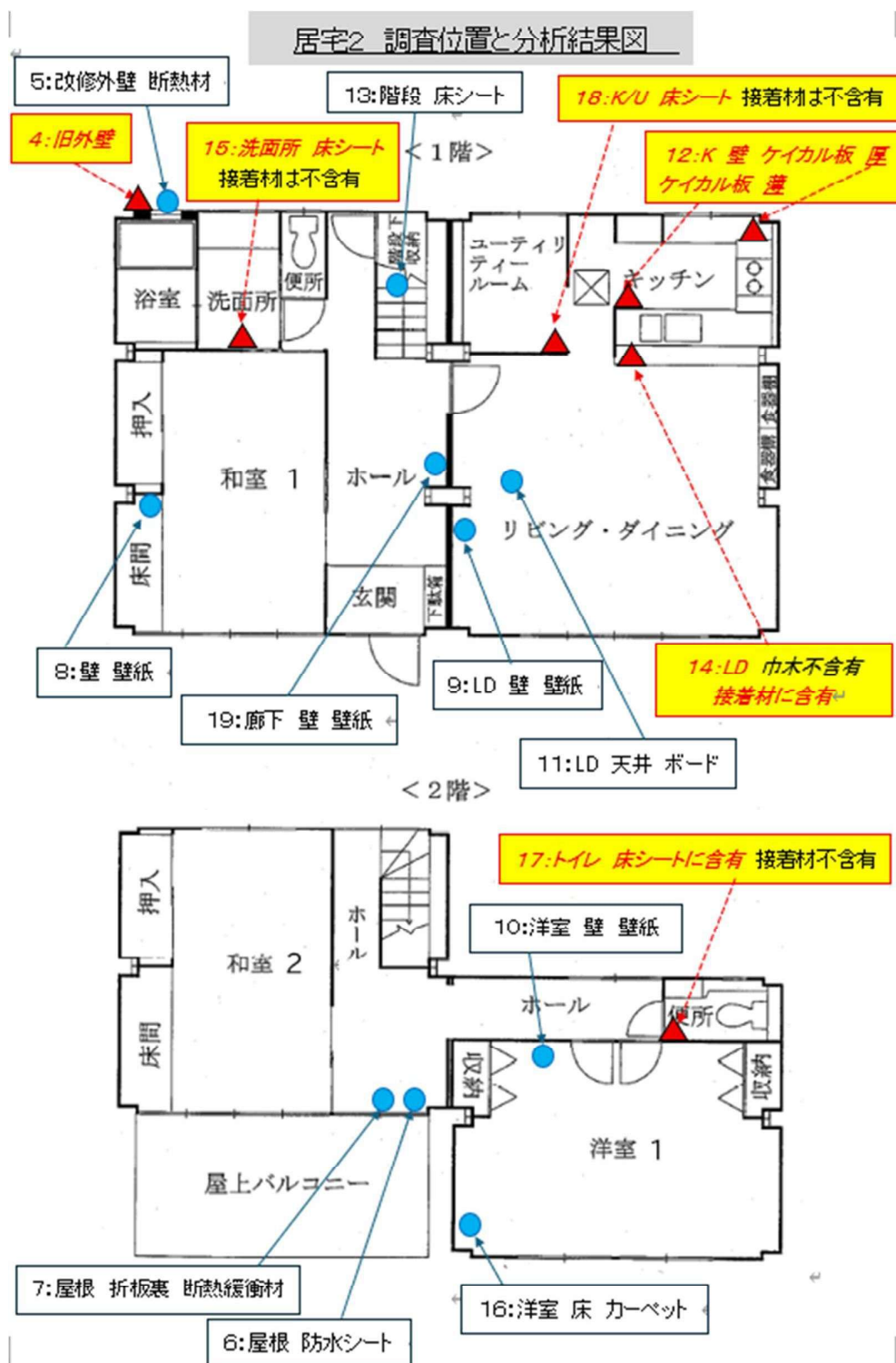
注 4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維(MMMF)、セルロース(CE)、合成有機繊維(SYN)、タルク(TA)、ウォラストナイト(WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう(GYP)、セピオライト(SE) などがある。

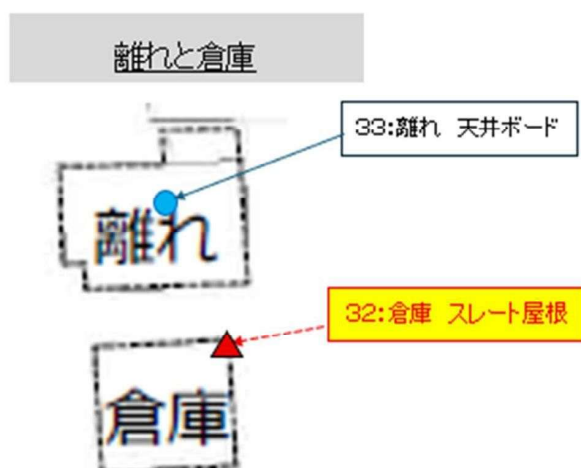
※目視調査時に使用した図面と部屋の呼称



(2) 分析に供した試料の採取サンプリングの位置と分析結果図







(3) 石綿を検出した建材の範囲及び推定面積

面積並びに延長は推定の為、目安として扱うこと。実際の建材の使用面積、延長は実寸にて把握されたい。



居宅1 床と壁

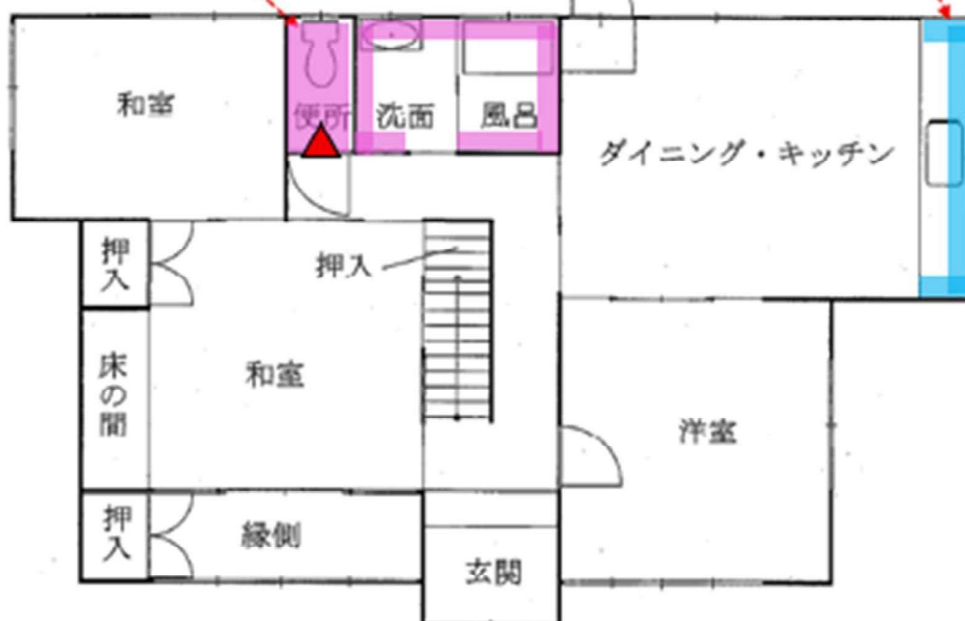
分析29:便所 タイル壁 接着材に含有 床:推定2㎡ 壁:推定15㎡

・洗面所 壁:推定5㎡ ・風呂 壁:推定7㎡

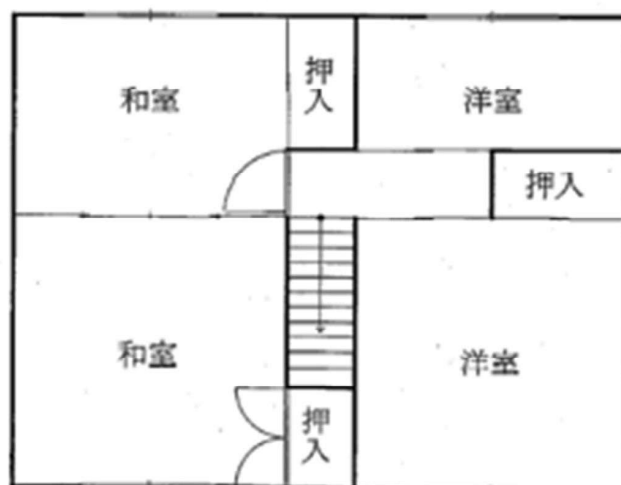
・キッチン壁:推定8㎡

29:便所 タイル壁
接着材に含有

<1階>



<2階>



居宅2 床

15:洗面所 ビニル床シートに含有 接着材は不含有 床:推定5㎡

・便所 床:推定2㎡

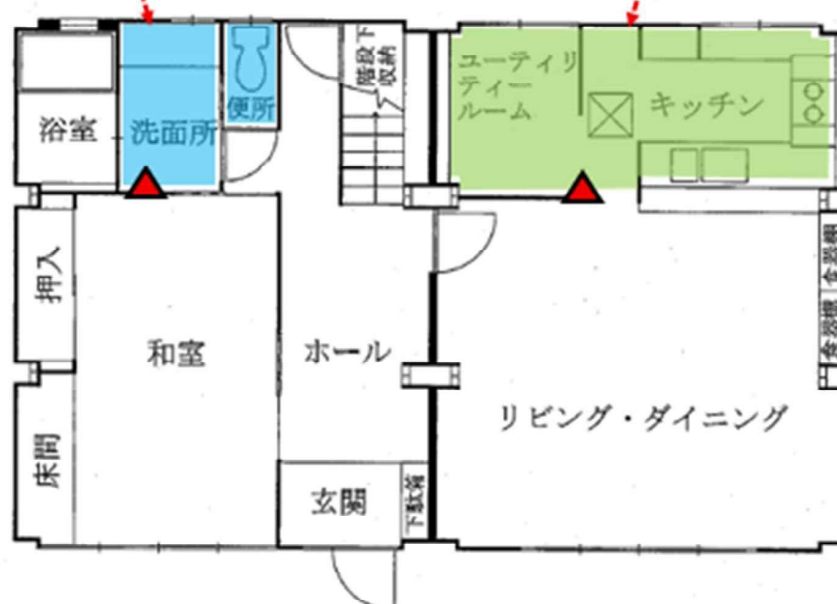
18:キッチン ユーティリティ ビニル床シートに含有 接着材は不含有 床:推定15㎡

17:トイレ ビニル床シートに含有 接着材不含有 床:推定2㎡ 同シートは1階洗面所に床調整下地として残置されている。

15:洗面所 床シート
接着材は不含有

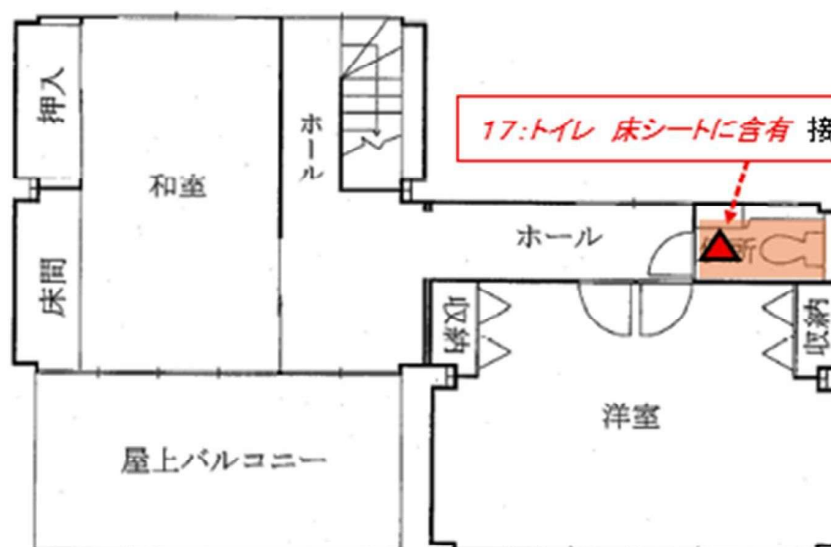
< 1 階 >

18:K/U 床シート 接着材は不含有



< 2 階 >

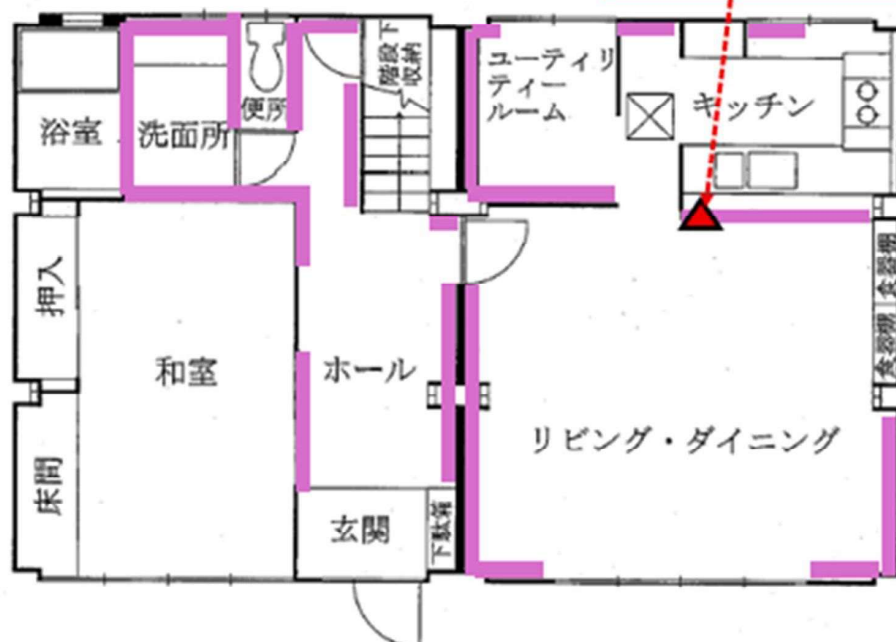
17:トイレ 床シートに含有 接着材不含有



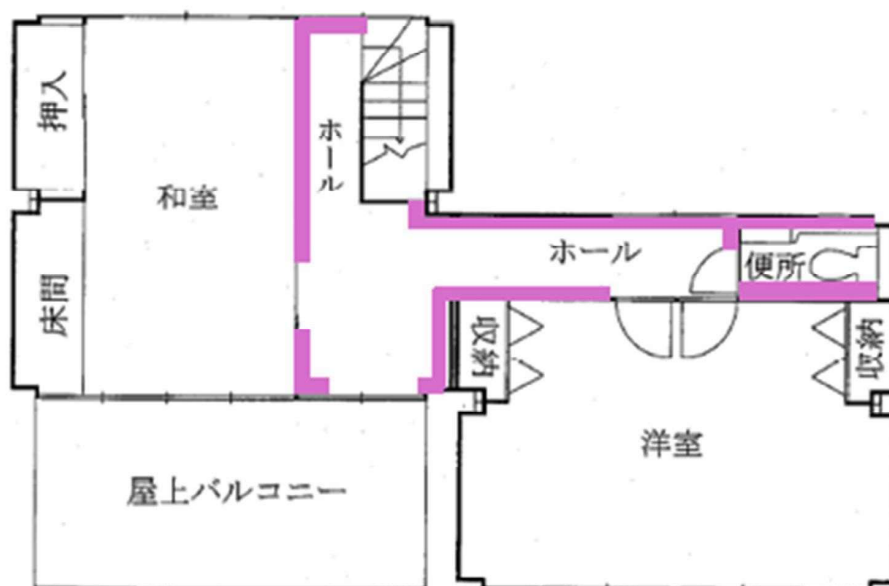
居宅2 巾木
 14:LD ソフト巾木含有なし 接着材に含有 1階:推定55メートル

< 1 階 >

14:LD 巾木は不含有
 接着材に含有



< 2 階 >



居宅2 屋内壁 及び 外壁

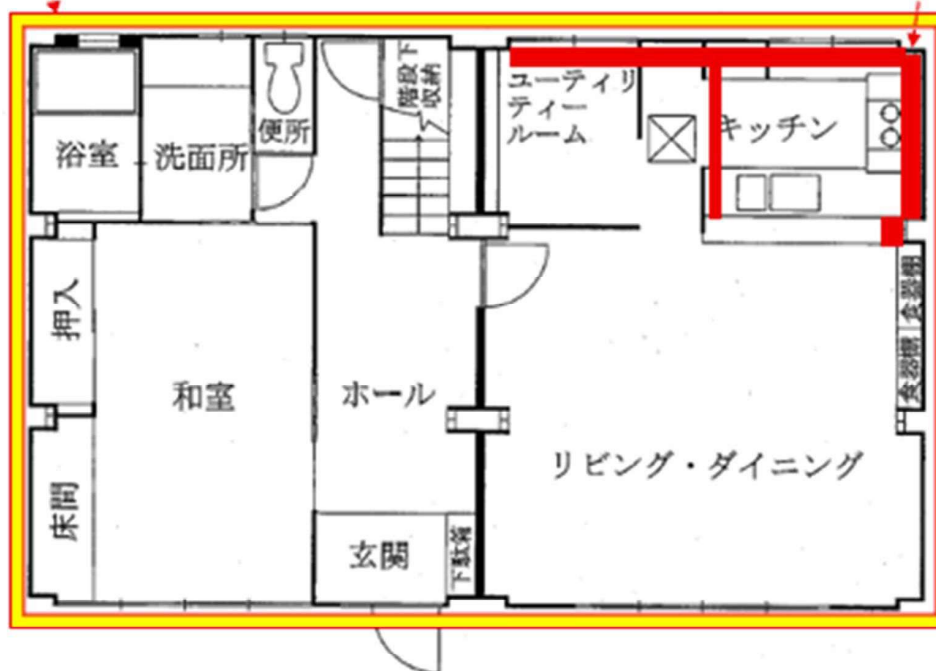
12:キッチン 壁 ケイ酸カルシウム板に含有あり :推定15m²

4:旧外壁 窯業系サイディングに含有あり :推定380m²

4:旧外壁

< 1 階 >

12:K 壁 ケイカル板 厚
ケイカル板 薄



< 2 階 >

